

特許流通の実態に関するアンケート

平成19年4月
株式会社野村総合研究所

調査ご協力をお願い

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、独立行政法人工業所有権情報・研修館から委託を受け、表記の「特許流通の実態に関するアンケート」を実施することとなりました。本アンケート調査は、企業や大学が保有している特許の流通や技術の移転、中小企業等へのライセンスの付与を今後より一層促進していく上で、どのような点が課題となっているのか、その実態を把握することにより、独立行政法人工業所有権情報・研修館が進める特許流通促進事業など特許の流通に係る活性化施策の検討・立案に役立てることを目的としています。

本アンケート調査は、貴社において、**知的財産の管理をご担当されている方**にお答えいただければ幸いに存じます。回答をお願いしているみなさま方は、日本知的財産協会の会員企業の中から抽出させていただきました。

つきましては、ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、上記の趣旨をご理解の上、本調査にご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、本アンケート調査は無記名となっておりますので、個々の会社が特定されることはございません。

<ご記入上のお願い>

- 1 ご回答は、**知的財産の管理をご担当されている部署の方**にお願いいたします。
- 2 ご記入は、黒・青のボールペン、万年筆または鉛筆でお願いします。
- 3 質問の番号順にお答えください。質問によっては、一部の方だけにおたずねするものがありますが、その場合は矢印などの案内にそってお進みください。
- 4 ご回答は、あてはまるものの番号を 印で囲んでください。なお、質問ごとに「は一つ」「はいくつでも」というように指定してありますので、ご注意ください。
- 5 「その他()」に該当される場合は、ご面倒ですが、なるべく詳しく()内に回答内容をご記入ください。
- 6 ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手は不要です)に封入のうえ、4月27日(金)までにご投函ください。
- 7 ご不明の点がございましたら、下記の担当者までお問い合わせください。

株式会社野村総合研究所 情報・通信コンサルティング部
担当：山本
電話：03-5533-2819
(受付時間：平日10時から17時)

【全員の方におうかがいします。】

はじめに、貴社()についておうかがいします。

- (1)「貴社」の範囲は、知的財産の管理をどの範囲まで行っているかを表します。例えば、グループ経営の企業において、子会社や資本関係がある企業を含めて知的財産の管理を行っている場合は、「貴社」の範囲に、子会社や資本関係がある企業も含まれます。以降の設問は、上記の定義に基づいてお答えください。

問1 貴社の業種は、以下のどれにあてはまりますか。(は一つ)

業種分類	業種			
製造業	1. 食品	2. 繊維	3. 紙・パルプ	
	4. 化学	5. 薬品	6. ゴム・窯業	
	7. 鉄鋼	8. 非鉄金属	9. 機械	
	10. 電気機器	11. 輸送機器	12. 精密機器	
	13. 造船	14. その他()		
	その他	15. 農林・水産・鉱業	16. 不動産・建築	17. 金融
		18. エネルギー	19. 運輸	20. 情報通信
21. サービス		22. その他()		

問2 貴社の正社員数をお答えください。

正社員数：約 _____人

問3 貴社の売上高(平成18年度)をお答えください。

売上高：約 _____百万円

問4 貴社の研究開発に係る予算(平成18年度)をお答えください。

研究開発に係る予算：約 _____百万円

問5 貴社では、特許⁽¹⁾(²⁾の管理を行っている部署はどちらになりますか。(それぞれは一つずつ)

- (1)「特許」と記述されている場合は、「特許権」と「実用新案権」を対象とします。一方、「商標権」や「意匠権」については、対象外とします。上記の定義に基づいてお答えください。
- (2)「特許」と記述されている場合について、特に断りがないときは、「国内出願」のもののみを対象とします。一方、「国際出願」のものや「外国出願」のものについては、対象外とします。以降の設問は、上記の定義に基づいてお答えください。

	知的財産部門	法務部門	法務・知的財産部門	左記以外の部門	当者のみ決めている 特に部署はなく、担当者	そもそも管理を行っていない
出願から登録、維持に至る管理	1	2	3	4	5	6
ライセンスや売買に係る管理	1	2	3	4	5	6
権利侵害への対応に係る管理	1	2	3	4	5	6

問6 貴社の特許管理業務に携わる正社員数、非正社員数(派遣、アルバイト等)をお答えください。

正社員数：約_____人 非正社員数：約_____人

問7 貴社では、特許管理にあたって、弁護士資格保有者や弁理士資格保有者を組織内に専属で何名有していますか。全く有していない場合は0とご記入ください。

弁護士資格保有者：約_____人 弁理士資格保有者：約_____人

問8 貴社では、株主説明や投資家へのPRなどを目的として、知財報告書を作成していますか。(は一つ)

1. 知財報告書を作成している
2. 知財報告書としては作成していないが、財務報告書等の中に知財の項目を設けている
3. 知財報告書を作成していない

問9 平成18年度、貴社の知的財産の管理に係る予算(人件費を含む)は、売上高のおよそ何%ぐらいを占めましたか。(は一つ)

売上高に占める知的財産の管理に係る予算の割合：約_____%

問10 平成18年度の貴社の特許管理に係る予算(人件費は含まない)をお答えください。

特許管理に係る予算：約_____百万円

問11 平成18年度、貴社の特許出願に係る予算(人件費は含まない)は、特許管理に係る予算(人件費は含まない)のおよそ何%ぐらいを占めましたか。(は一つ)

1. 10%未満
2. 10%~20%未満
3. 20%~30%未満
4. 30%~40%未満
5. 40%~50%未満
6. 50%~60%未満
7. 60%~70%未満
8. 70%~80%未満
9. 80%~90%未満
10. 90%以上(およそ_____%ぐらい)

【全員の方におうかがいします。】

特許の出願・登録状況についておうかがいします。

問 12 平成 19 年 3 月末時点で、貴社において、出願中の特許や権利所有されている特許はおよそ何件ありますか。出願中の特許や権利所有されている特許がない場合は 0 とご記入ください。なお、この設問に限り、「国内出願」と「国際出願・外国出願」の両方についてお答えください⁽¹⁾。

(1)複数国に特許を出願している場合は、複数件として出願件数をお答えください。

	出願件数 (ストックベース)	登録件数 (ストックベース)
国内出願	約_____件	約_____件
国際出願・外国出願	約_____件	約_____件

問 13 平成 19 年 3 月末時点で、貴社の「保有特許」に占める「開放特許⁽¹⁾」の割合は、およそ何%ぐらいになりますか。(は一つ)

(1)開放特許とは、他社、他機関等に提供意思(実施許諾、譲渡)のある特許を指します。

1. 開放特許はない

→ 問 16 へお進みください

- 2. 10%未満
- 3. 10%～20%未満
- 4. 20%～30%未満
- 5. 30%～40%未満
- 6. 40%～50%未満
- 7. 50%～60%未満
- 8. 60%～70%未満
- 9. 70%～80%未満
- 10. 80%～90%未満
- 11. 90%以上(およそ_____%ぐらい)

→ 問 14 へお進みください

問 14 開放特許のうち、自社の「未実施特許」が占める割合は、およそ何%ぐらいになりますか。(は一つ)

1. 未実施特許はない

→ 問 16 へお進みください

- 2. 10%未満
- 3. 10%～20%未満
- 4. 20%～30%未満
- 5. 30%～40%未満
- 6. 40%～50%未満
- 7. 50%～60%未満
- 8. 60%～70%未満
- 9. 70%～80%未満
- 10. 80%～90%未満
- 11. 90%以上(およそ_____%ぐらい)

問 15 問 14 でお答えになられた自社の「未実施特許」のうち、将来実施する予定がある特許が占める割合は、およそ何%ぐらいになりますか。(は一つ)

1. 将来実施する予定がある特許はない

- 2. 10%未満
- 3. 10%～20%未満
- 4. 20%～30%未満
- 5. 30%～40%未満
- 6. 40%～50%未満
- 7. 50%～60%未満
- 8. 60%～70%未満
- 9. 70%～80%未満
- 10. 80%～90%未満
- 11. 90%以上(およそ_____%ぐらい)

問 16 貴社では、特許を出願・登録する際に、下のア～オのような点についてどの程度重視していますか。(それぞれ は一つずつ)

		かなり重視している	多少重視している	あまり重視していない	全く重視していない
ア	現在の自社の商品・役務のマーケットシェアの維持・拡大を図ること	1	2	3	4
イ	現在の自社の商品・役務以外の領域で将来の市場創造につなげること	1	2	3	4
ウ	同業種あるいは異業種へのライセンスや売買により収入を得ること	1	2	3	4
エ	同業種あるいは異業種から自社への権利侵害に対抗できること	1	2	3	4
オ	有用性や取組み姿勢をアピールし、自社の名声や企業価値を高めること	1	2	3	4

問 17 貴社の特許戦略についておうかがいします。貴社では、以下のような方針にどの程度重点を置いて、特許の出願・登録を行っていますか。考え方 と考え方 の内容を比較して、どちらの考え方に近いとお答えください。(それぞれ は一つずつ)

考え方	同様の考え方である	ほぼ同様の考え方である	どちらかといえば同様の考え方に近い	どちらかといえば異なる考え方に近い	同様の考え方である	考え方
できるだけ多くの特許について、積極的に出願・登録を行う	1	2	3	4	4	できるだけ特許の出願・登録は行わない、あるいは厳選した特許のみとし、件数をできるだけ抑える
自社の事業・製品・サービスやその周辺分野をあまり意識せずに、特許の出願・登録を行う	1	2	3	4	4	自社の事業・製品・サービスに限定して、特許の出願・登録を行う

問 18 貴社では、特許の放棄について、定期的に検討していますか。(は一つ)

1. 月に1回程度、検討している
2. 2～3ヶ月に1回程度、検討している
3. 半年に1回程度、検討している
4. 年に1回程度、検討している
5. 2～3年に1回程度、検討している
6. 4～5年に1回程度、検討している
7. 必要に応じてその都度、検討している

8. 特許の放棄を検討したことがない

→ 問 20 へお進みください

問 19 貴社では、どのような観点を重視して、特許の放棄についての検討を行っていますか。(はいくつでも)

1. 現在の自社の商品・役務のマーケットシェアの維持・拡大につながる見込み
2. 現在の自社の商品・役務以外の領域で将来の市場創造につながる見込み
3. 同業種あるいは異業種へのライセンスや売買により収入が得られる見込み
4. 同業種あるいは異業種から自社への権利侵害に対抗できる見込み
5. 有用性や取組み姿勢をアピールし、自社の名声や企業価値を高められる見込み
6. その他()

問 20 特許の出願・登録において、困っていることをお知らせください。(はいくつでも)

1. 特許の出願に係る予算が確保できない、あるいは不足している
2. 特許の登録・維持に係る予算が確保できない、あるいは不足している
3. 上記1、2以外の特許管理に係る予算が確保できない、あるいは不足している
4. 自社の経営・事業戦略と特許戦略がリンクしていない
5. 商品化や研究開発において特許が意識されていない
6. 特許管理業務に係る人材が確保できない、あるいは不足している
7. 権利侵害対応などの業務に奔走し、特許の出願・登録に手が回らない
8. その他()
9. 特に困っていることはない

【全員の方におうかがいします。】

特許の流通（ライセンス、売買等）についておうかがいします。

問 21 平成 16～18 年度、貴社では、次の主体が保有する特許に関して、有償実施権許諾(ライセンス)契約（係争解決・クロスライセンスを除く）を締結し、ライセンスを取得しましたか（はいいくつでも）。ライセンスを取得したものについては、差し支えない範囲で結構ですので、おおよその成約件数をお知らせください。

（はいいくつでも）	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
1. 大企業	約 _____ 件	約 _____ 件	約 _____ 件
2. 中小企業	約 _____ 件	約 _____ 件	約 _____ 件
3. 国研・公設試	約 _____ 件	約 _____ 件	約 _____ 件
4. 大学	約 _____ 件	約 _____ 件	約 _____ 件
5. TLO	約 _____ 件	約 _____ 件	約 _____ 件
6. その他	約 _____ 件	約 _____ 件	約 _____ 件
7. 締結していない			

問 22 上記の問 21 でお答えになられた実施権許諾(ライセンス)契約は、どのような交渉を経て実現しましたか。（はいいくつでも）またそのうち、貴社において最も多く利用されている交渉形態を 1 つ選んで 印をお付けください。

1. ライセンス先との直接交渉
2. 大学や公設試などの承認 TLO を介した交渉
3. 民間の特許流通業者を介した交渉
4. 特許事務所を介した交渉
5. 自治体や国（発明協会、科学技術振興機構（JST）などを含む）等の社外のアドバイザーやコーディネータを介した交渉
6. その他（ _____ ）

問 23 平成 16～18 年度の貴社におけるライセンスによるトータルの支出は、おおよそいくらぐらいになりますか。差し支えない範囲で結構ですので、おおよその金額をお知らせください。

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
ライセンス取得に係る支出 （係争的でないもの）	約 _____ 百万円	約 _____ 百万円	約 _____ 百万円
ライセンス取得に係る支出 （係争的なもの）	約 _____ 百万円	約 _____ 百万円	約 _____ 百万円

なお、上記の表で、具体的な数字の記入によるご回答が難しい場合は、下の選択肢よりお選びいただいても結構です。（それぞれ は一つずつ）

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
ライセンス取得に係る支出 （係争的でないもの）	1. 0 円 2. 100 万円未満 3. 1000 万円未満 4. 1 億円未満 5. 1 億円以上	1. 0 円 2. 100 万円未満 3. 1000 万円未満 4. 1 億円未満 5. 1 億円以上	1. 0 円 2. 100 万円未満 3. 1000 万円未満 4. 1 億円未満 5. 1 億円以上
ライセンス取得に係る支出 （係争的なもの）	1. 0 円 2. 1000 万円未満 3. 1 億円未満 4. 10 億円未満 5. 10 億円以上	1. 0 円 2. 1000 万円未満 3. 1 億円未満 4. 10 億円未満 5. 10 億円以上	1. 0 円 2. 1000 万円未満 3. 1 億円未満 4. 10 億円未満 5. 10 億円以上

問 24 上記の問 21 でお答えになられたような様々な主体との有償実施権許諾(ライセンス)契約の締結機会は、ここ 2～3 年の間にどのように変化すると思われますか。（はい一つ）またそのように思われる理由について、お考えを下の空欄にご記入ください。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 現状よりも増える（新たな契約を含む） | 契約が増えそうな主体：
_____ |
| 2. 現状とほとんど変わらない | _____ |
| 3. 現状よりも減る | 契約が減りそうな主体：
_____ |

【理由】

問 25 平成 16～18 年度、貴社では、次の主体が保有する特許に関して、譲渡契約を締結し、特許を購入しましたか。(はいいくつでも)購入したものについては、差し支えない範囲で結構ですので、おおよその購入件数をお知らせください。

(はいいくつでも)	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
1. 大企業	約_____件	約_____件	約_____件
2. 中小企業	約_____件	約_____件	約_____件
3. 国研・公設試	約_____件	約_____件	約_____件
4. 大学	約_____件	約_____件	約_____件
5. TLO	約_____件	約_____件	約_____件
6. その他	約_____件	約_____件	約_____件
7. 締結していない			

問 26 上記の問 25 でお答えになられた譲渡契約は、どのような交渉を経て実現しましたか。(はいいくつでも)またそのうち、貴社において最も多く利用されている交渉形態を 1 つ選んで 印をお付けください。

1. ライセンス先との直接交渉
2. 大学や公設試などの承認 TLO を介した交渉
3. 民間の特許流通業者を介した交渉
4. 特許事務所を介した交渉
5. 自治体や国(発明協会、科学技術振興機構(JST)などを含む)等の社外のアドバイザーやコーディネータを介した交渉
6. その他()

問 27 平成 16～18 年度の貴社における特許の購入によるトータルの支出は、おおよそいくらになりますか。差し支えない範囲で結構ですので、おおよその金額をお知らせください。

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
特許の購入に係る支出	約_____百万円	約_____百万円	約_____百万円

なお、上記の表で、具体的な数字の記入によるご回答が難しい場合は、下の選択肢よりお選びいただいても結構です。(それぞれ は一つずつ)

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
特許の購入に係る支出	1. 0円	1. 0円	1. 0円
	2. 100万円未満	2. 100万円未満	2. 100万円未満
	3. 1000万円未満	3. 1000万円未満	3. 1000万円未満
	4. 1億円未満	4. 1億円未満	4. 1億円未満
	5. 1億円以上	5. 1億円以上	5. 1億円以上

問 28 上記の問 25 でお答えになられたような様々な主体との譲渡契約の締結機会は、ここ 2～3 年の間にどのように変化すると思われますか。(はい一つ)またそのように思われる理由について、お考えを下の空欄にご記入ください。

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. 現状よりも増える(新たな契約を含む) | 契約が増えそうな主体: |
| 2. 現状とほとんど変わらない | _____ |
| 3. 現状よりも減る | 契約が減りそうな主体: |
| | _____ |

【理由】

問 29 平成 16～18 年度、貴社では、貴社が保有する特許に関して、次の主体と有償実施権許諾(ライセンス)契約(係争解決・クロスライセンスを除く)を締結し、ライセンスを付与しましたか(はいくつでも)。ライセンスを付与したものについては、差し支えない範囲で結構ですので、おおよその成約件数をお知らせください。

(はいくつでも)	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
1. 大企業	約_____件	約_____件	約_____件
2. 中小企業	約_____件	約_____件	約_____件
3. 国研・公設試	約_____件	約_____件	約_____件
4. 大学	約_____件	約_____件	約_____件
5. TLO	約_____件	約_____件	約_____件
6. その他	約_____件	約_____件	約_____件
7. 締結していない			

問 30 上記の問 29 でお答えになられた有償実施権許諾(ライセンス)契約は、どのような交渉を経て実現しましたか。(はいくつでも) またそのうち、貴社において最も多く利用されている交渉形態を 1 つ選んで 印をお付けください。

1. ライセンス先との直接交渉
2. 大学や公設試などの承認 TLO を介した交渉
3. 民間の特許流通業者を介した交渉
4. 特許事務所を介した交渉
5. 自治体や国(発明協会、科学技術振興機構(JST)などを含む)等の社外のアドバイザーやコーディネータを介した交渉
6. その他()

問 31 平成 16～18 年度の貴社におけるライセンス付与によるトータル収入は、おおよくらくらいになりますか。差し支えない範囲で結構ですので、おおよその金額をお知らせください。

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
ライセンス付与に係る収入	約_____百万円	約_____百万円	約_____百万円

なお、上記の表で、具体的な数字の記入によるご回答が難しい場合は、下の選択肢よりお選びいただいても結構です。(それぞれ はい一つずつ)

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
ライセンス付与に係る収入	1. 0円 2. 100万円未満 3. 1000万円未満 4. 1億円未満 5. 1億円以上	1. 0円 2. 100万円未満 3. 1000万円未満 4. 1億円未満 5. 1億円以上	1. 0円 2. 100万円未満 3. 1000万円未満 4. 1億円未満 5. 1億円以上

問 32 上記の問 29 でお答えになられたような様々な主体との有償実施権許諾(ライセンス)契約の締結機会は、ここ 2～3 年の間にどのように変化すると思われますか。(はい一つ) またそのように思われる理由について、お考えを下の空欄にご記入ください。

1. 現状よりも増える(新たな契約を含む) 契約が増えそうな主体: _____
2. 現状とほとんど変わらない _____
3. 現状よりも減る 契約が減りそうな主体: _____

【理由】

問 33 平成 16～18 年度、貴社では、貴社が保有する特許に関して、次の主体と譲渡契約を締結し、特許を売却しましたか。(はいくつでも)売却したものについては、差し支えない範囲で結構ですので、おおよその売却件数をお知らせください。

(はいくつでも)	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
1. 大企業	約_____件	約_____件	約_____件
2. 中小企業	約_____件	約_____件	約_____件
3. 国研・公設試	約_____件	約_____件	約_____件
4. 大学	約_____件	約_____件	約_____件
5. TLO	約_____件	約_____件	約_____件
6. その他	約_____件	約_____件	約_____件
7. 締結していない			

問 34 上記の問 33 でお答えになられた譲渡契約は、どのような交渉を経て実現しましたか。(はいくつでも) またそのうち、貴社において最も多く利用されている交渉形態を 1 つ選んで 印をお付けください。

1. ライセンス先との直接交渉
2. 大学や公設試などの承認 TLO を介した交渉
3. 民間の特許流通業者を介した交渉
4. 特許事務所を介した交渉
5. 自治体や国(発明協会、科学技術振興機構(JST)などを含む)等の社外のアドバイザーやコーディネータを介した交渉
6. その他()

問 35 平成 16～18 年度の貴社における特許の売却によるトータルの収入は、おおよそいくらになりますか。差し支えない範囲で結構ですので、おおよその金額をお知らせください。

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
特許の売却に係る収入	約_____百万円	約_____百万円	約_____百万円

なお、上記の表で、具体的な数字の記入によるご回答が難しい場合は、下の選択肢よりお選びいただいても結構です。(それぞれ は一つずつ)

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
特許の売却に係る収入	1. 0円	1. 0円	1. 0円
	2. 100万円未満	2. 100万円未満	2. 100万円未満
	3. 1000万円未満	3. 1000万円未満	3. 1000万円未満
	4. 1億円未満	4. 1億円未満	4. 1億円未満
	5. 1億円以上	5. 1億円以上	5. 1億円以上

問 36 上記の問 33 でお答えになられたような様々な主体との譲渡契約の締結機会は、ここ 2～3 年の間にどのように変化すると思われますか。(はいくつ) またそのように思われる理由について、お考えを下の空欄にご記入ください。

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. 現状よりも増える(新たな契約を含む) | 契約が増えそうな主体: |
| 2. 現状とほとんど変わらない | _____ |
| 3. 現状よりも減る | 契約が減りそうな主体: |
| | _____ |

【理由】

問 37 貴社では、どのような目的やタイミングにより、特許のライセンスや売買を行っていますか。下のア～エごとに、それぞれの目的やタイミングが占める割合について、各項目の総和（それぞれの□内）が100%となるように、おおよその割合をお答えください。

【目的】 ア～エそれぞれについて総和が100%になるようにご記入ください。

		事業強化・拡大の為	係争対応・解決の為	その他
ア	ライセンスの取得	_____%	_____%	_____%
イ	特許の購入	_____%	_____%	_____%

		コスト削減や 収入拡大の為	事業再編の為	係争対応・解決 の為	その他
ウ	ライセンスの付与	_____%	_____%	_____%	_____%
エ	特許の売却	_____%	_____%	_____%	_____%

【タイミング】 ウ～エそれぞれについて総和が100%になるようにご記入ください。

		事業成長がピーク を超えた時	ノンコア事業 となったとき	事業再編が行 われたとき	その他
ウ	ライセンスの付与	_____%	_____%	_____%	_____%
エ	特許の売却	_____%	_____%	_____%	_____%

問 38 貴社では、貴社が保有する特許のうち、有償実施権許諾(ライセンス)契約に基づくライセンス（係争解決・クロスライセンスを除く）や、譲渡契約に基づく特許の売却などにより、活用している特許の割合は、おおよそ何%ぐらいですか。（は一つ）

1. 活用していない
2. 10%未満
3. 10%～20%未満
4. 20%～30%未満
5. 30%～40%未満
6. 40%～50%未満
7. 50%以上（おおよそ_____%ぐらい）

問 39 貴社では、貴社が保有する特許のうち、クロスライセンス契約の締結により、活用している特許の割合は、おおよそ何%ぐらいですか。（は一つ）

1. クロスライセンス契約を締結していない → 問 41 へお進みください

2. 10%未満
 3. 10%～20%未満
 4. 20%～30%未満
 5. 30%～40%未満
 6. 40%～50%未満
 7. 50%以上（おおよそ_____%ぐらい）
- 問 40 へお進みください

問 40 クロスライセンス契約を締結している方におうかがいします。クロスライセンス契約の問題点として実感しているものについてお答えください。（はいいくつでも）

1. 規定上、自社で勝手に関連特許の売却ができない
2. 相手の契約対象特許が無効化されている
3. どの特許がライセンスされているのか正確に把握できていない
4. クロスライセンス契約の相手方の事業譲渡や買収などにより、競合企業に実施権が渡るリスクがある
5. その他（_____）

問 41 上記でお答えになられたようなクロスライセンス契約の締結機会は、ここ2～3年の間にどのように変化すると思われますか。（は一つ）またそのように思われる理由について、お考えを下の空欄にご記入ください。

1. 現状よりも増える（新たな契約を含む）
2. 現状とほとんど変わらない
3. 現状よりも減る

【理由】

【全員の方におうかがいします。】

特許の流通に係る政府の支援活動についておうかがいします。

問 48 独立行政法人工業所有権情報・研修館をご存知でしたか。(は一つ)

1. 詳しい事業内容や活動内容を知っている
2. 事業内容や活動内容の概要を知っている
3. 名前を聞いたことがある
4. 全く知らない

問 49 独立行政法人工業所有権情報・研修館が推進する「特許流通促進事業」(<http://www.ryutu.inpit.go.jp/>)の中で、これまでにご利用になったことがあるものをすべて選んで 印をお付けください。(はいくつでも) またそのうち、今後も継続して利用していきたいとお考えになられたものについては、 印をお付けください。

1. 特許流通や技術移転に係る相談、仲介等を行う、特許流通アドバイザーの派遣(社団法人発明協会への委託事業)
2. 特許電子図書館などを用いた特許情報の検索方法や活用方法について指導を行う、特許情報活用支援アドバイザーの派遣(財団法人日本特許情報機構への委託事業)
3. 特許流通データベースの提供(インターネットによる開放特許情報の提供サービスを含む、財団法人日本特許情報機構への委託事業)
4. 知的財産権取引業者データベースの提供
5. 国際特許流通セミナーの開催
6. 特許ビジネス市の開催
7. 特許流通講座(基礎編・実務編)の開催
8. 特許流通シンポジウムの開催
9. 特許流通ニュースメールの配信
10. 特許流通促進事業広報番組「知恵の輪ニッポン」の放送
11. 開放特許活用例集の提供
12. 特許流通支援チャートの提供
13. 上記の1～13に関して特に利用したことはない

【問 49 で「1. 特許流通や技術移転に係る相談、仲介等を行う、特許流通アドバイザーの派遣」とご回答になられた方におうかがいします。】

問 50 満足度についてお知らせください。(は一つ)

1. 期待した以上の大きな満足度が得られた
2. 期待した通りの満足度が得られた
3. 期待したほどの満足度は得られなかった
4. 期待外れで不満が残った

問 51 特許流通アドバイザー派遣事業を利用して、良かった点、良くなかった点(改善してほしい点)についてお知らせください。

【良かった点】

【良くなかった点(改善してほしい点)】

【問 49 で「3. 特許流通データベースの提供」とご回答になられた方におうかがいします。】

問 52 満足度についてお知らせください。(は一つ)

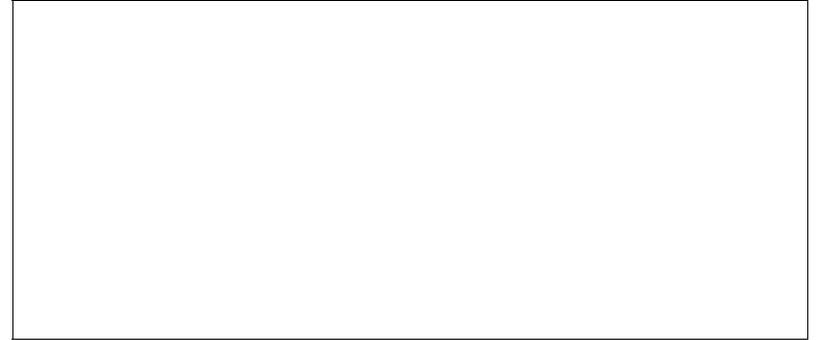
1. 期待した以上の大きな満足度が得られた
2. 期待した通りの満足度が得られた
3. 期待したほどの満足度は得られなかった
4. 期待外れで不満が残った

問 53 特許流通データベースを利用して、良かった点、良くなかった点(改善してほしい点)についてお知らせください。

【良かった点】

【良くなかった点(改善してほしい点)】

問 54 独立行政法人工業所有権情報・研修館へのご要望について、ご意見をお聞かせください。



問 55 特許の流通（ライセンス、売買等）の活性化のために、どのような施策が必要であるとお考えですか。ご意見をお聞かせください。



おうかがいしたいことは以上です。ご協力ありがとうございました。
恐れ入りますが、4月27日（金）までにご投函いただきますよう、お願い申し上げます。